

平成25年度 学校評価表

A 評価できる B ふつう C 努力が必要(数字は%)

8 長野県須坂商業高等学校

学校教育目標	重点目標(中・長期的目標)	総合評価		
		A	B	C
○希望に満ちた積極的な人間の形成を目指す。 ○何ごとともやり抜く気力・体力を養う。	1. 地域から信頼される学校づくりを推進する。 2. 生徒の主体的な学習活動を推進する。 3. 生徒の職業意識を高め、キャリア教育の充実を図る。	20	80	0
	今年度の重点目標	成果と課題、改善策など		
○豊かな品位ある誠実な人格を養う。	○自己有用感をもち、主体的に社会に参加しようとする姿勢を育成する。(中・長期的目標の1, 2, 3に対応) ○自分を大切にするとともに、他者を思いやることのできる人権意識を涵養する。(同じく 1に対応) ○生徒の希望する進路実現につながるキャリア教育の推進を図る。(同じく 2, 3に対応) ○基礎学力の定着と高度資格取得等をめざすことにより、学力の向上を図る。(同じく 3に対応) ○地域との連携を深め、開かれた学校づくりをより推進する。(同じく 1に対応)	学校の活動がマスコミで取り上げられる機会が多く、本校で学ぶことに自信を持つことができ、主体的に社会に参加しようとする意識が高まった。 機を逃さずに丁寧に指導を続けることが大切である。 低学年次からの進路学習の改善を図ることができた。更に1, 2年次における就業体験の充実を図りたい。 テスト前の学習に対する指導には一定の成果があったが、基礎学力の定着を図るための日常的な取り組みが十分ではなかった。具体的な取り組みを確実に実行に移したい。 地域と更に連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。		

領域	対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	成果と課題、改善策など	
教育	学 習	○基礎学力の充実	一人ひとりの生徒に対してゆきとどいた学習指導がなされているか。	29	67	5	検定カレンダーの作成、学習室の確保、考查範囲とワンポイントアドバイスなど新たな試みを行い、基礎学力養成に一定の効果がみられたとの声があった。しかし、家庭学習時間をもつための取り組みに課題を残した。	
			学習内容の改善、工夫がなされているか。	29	67	5		
			学力補充が計画され、実施されているか。	43	57	0		
			家庭学習の時間をもつための取り組みができたか。	14	67	19		
	指 導	○職業意識の向上、生徒の興味・関心のある教育内容の実現	学ぶことに関心をもち、自己の将来設計や創造を膨らませる機会が提供できたか。	29	71	0	2学年を対象に進路研修会を企画し、就職希望者には地元企業の人事担当を招聘し、社会人になるにあたっての心構えや高校で取り組むべきことについて、進学希望者向けには上級学校の教職員を招聘し学習内容や高校で取り組むべきことについて講演していただいた。係がインシアティブをとり直接短大・大学側と交渉を行ったことで、生徒の進路に対する関心が一段と高まり、進路について真剣に考える生徒の姿を見ることが増えた。また、インターンシップだけでなく須商マーケット(販売実習)で得られた体験を、受験に活かすケースが見られ、生徒の進路実現にも効果があった。	
			就業体験学習、実習販売が計画的・効果的に機能を果たす内容になっているか。	48	52	0		
			外部講師の活用が適切であるか。	24	77	0		
	育	○検定前学習の充実	検定学習をするための組織的、計画的な環境作りができたか。	67	33	0	検定カレンダーを作成させ、一定の効果がみられた。	
			○須商マーケットでの実習販売	商業の授業として体系的な取り組みができていますか。	52	48	0	今年度から新たに毎月1回全校で社員研修会を実施し成果を上げた。
			○生徒に合ったコース制の選択	生徒個人の将来設計に見合ったコース選択がなされたか。	33	62	5	各学年の指導により、生徒個人の進路に沿った講座選択がある程度できた。
	活 動	生 徒 指 導	○生活指導の取り組み	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に取り組めたか。	52	48	0	学期の始めと終わりに全校一斉で服装検査を実施したり、日常的にもHRで継続的に指導し一定の成果を上げているが、十分な改善が見られない生徒もいる。粘り強く指導を継続したい。
				校則を守った身だしなみ指導ができたか。	19	81	0	
日常的・継続的な指導が学校全体で行われたか。				29	71	0		
指 導		○校内外の巡視	校舎内外の見回りが行われたか。	24	76	0	地域の方からご批判をいただくこともある。引き続き指導に努めたい。	
			地域の方の意見・要望に応えられる生徒育成に力を尽くすことができたか。	19	76	5		
教 育 相 談		○教育相談	人間関係がうまく築けない生徒に対して、適切な助言ができたか。	33	67	0	担任、各学年と連携して、配慮の必要な生徒についての支援を行うことができた。学校全体で生徒の実態把握に努め、生徒の小さな変化を見逃さないよう職員間の連携を一層深めたい。必要に応じて生徒理解・生徒支援のための職員研修等を、関係する係と連携して実施したい。	
			校内の教育相談体制がうまく機能したか。	24	71	5		
			特別支援教育の理解を深める研修ができ、情報を共有し適切な対応ができたか。	52	48	0		
			いじめにつながる行為を見逃さないなど、いじめの未然防止に努めることができたか。	40	60	0		
談		○家庭との連携	反省指導等で保護者との連絡・協力がなされたか。	62	38	0	保護者の意向も踏まえなが理解・協力を得て指導することができている。	
	教育相談の中で保護者の意向を聞き取った上での取り組みができたか。		62	38	0			
動 指 導	○進路指導	○学習環境の充実	進路指導室を生徒も教員も使用しやすい環境を整え、生徒の学習意欲を高めることができたか。	38	62	0	進路室を劇的にリニューアルし、生徒が学習できる環境を整えた。受験シーズンには何人かの生徒が残って学習に取り組む姿が見受けられた。来年度も沢山の生徒が利用できるようにしたい。	
		○進路指導体制の確立	係、学年、教科で緊密な連携がとれ、学校全体で生徒の希望に合わせた進路指導が行われたか。	57	43	0	学年任せではなく進路係も積極的に生徒の中に入り進路指導が行われた。来年度は今年度取り組んだチューター制に検討を加え、さらに実効力のあるものにした。	
		○進路情報の提供	進路情報の収集・提供が適切になされ、生徒の進路意識を高めることができたか。	29	71	0	進路通信を31号発行し様々な情報を提供した。来年度も継続し、就職関係の情報もできるだけ多く提供したい。	
		○キャリア教育の確立	将来を見据えたキャリア教育の推進とインターンシップを積極的に推し進められたか。	38	62	0	今年度も様々な機関に依頼し多くの生徒がインターンシップを実施したが、生徒の進路希望は日々刻々に変化する。長期休業中だけでなく生徒の現状にあわせた指導を行いたい。	
		○就職先の確保と開拓	卒業生の就職企業と連絡を密に取る一方、生徒の希望する職種への企業開拓に努めたか。	20	80	0	事務系の求人が殆ど無いのが現状である。様々な機会を利用して新規開拓を行いたい。	
学 校 連 携	○地域との連携	○公開授業の充実	公開範囲の拡大、来校者の本校に対するイメージアップにつながったか。	25	70	5	中学生や保護者を中心に授業の様子を見ていただき、挨拶がしっかりしている、授業に集中しているなどおおむねよい評価をいただいた。	
		○中学生体験入学の充実	本校を希望する中学生を広く集め、本校に対する認識を高めることができたか。	62	38	0	体験入学で商業科での学習内容を体験してもらった。授業内容は好評であった。	
		○学校評議員会の充実	学校の教育活動を十分に説明することができたか。 意見要望に対して改善するように取り組めたか。	38	62	0	学校の教育活動についてご理解をいただいた。今後の中学生数減少にともなって地元に残って学ぶ生徒を増やすような魅力ある学校を目指してもらいたいという要望をいただいた。要望にお応えできるように努力したい。	
		○学校ホームページの充実	タイムリーな情報発信ができたか。	38	57	5	「須商NOW」という形でホームページを利用してリアルタイムな情報提供ができた。来年度以降も継続していきたい。	
		○生徒の校外活動の充実	地域との連携による生徒の自主活動ができたか。	43	57	0	須坂市主催の清掃ボランティアに美化委員だけでなく執行部も参加し、地域の方々と交流しながら取り組むことができた。	
運 営	と保 護 者 連 携	○学年・学級PTAの活性化	生徒の学習、生活、進路について十分な論議がなされたか。	33	67	0	2回の保護者懇談会で学習、生活、進路について話すことができている。懇親会も本会PTA主催で2回開かれ、進路などについてゆっくり話ができる機会となっている。	
			学校と家庭との連携がうまくなされたか。	38	62	0		
		○PTA行事の充実	行事を充実させ、学校と家庭との親睦を図ることができたか。	10	81	9	役員や出席していただける保護者の方とは親睦をはかっている。またスポーツを通してPとTの距離が縮まりやすい。	
生 徒 会	○生徒会活動の活性化	生徒の主体的な活動を推進できたか。	19	81	0	クラブ説明会では、単にクラブの説明だけでなくパフォーマンスも盛り込んで、新入生に「クラブに入りたい」という思いを抱かせることができた。来年度はより自発的な活動が行われるよう指導していきたい。		
		委員会活動を計画通りに行えたか。	19	76	5			
		部活動の加入率を上げることができたか。	14	67	19			
		生徒会予算を有効に執行できたか。	24	57	19			